

DevLOVE ed.

“involve”, NOT “evolve”

あまのりょー

2009-03-25

最初にお礼

- この場に声をかけてくれた
papandaさんへ
 - ▶ いつも暑苦しい熱い気持ちを4q!
- もちろん聴いて下さっている皆さんも

注意



- 今日の話はデブサミ2008の「竹迫アワー」で話したネタを再利用しています
 - ▶ その時聞いてくださった方、ごめんなさい



XPJUG代表 倉貫さん

- というかTISの倉貫さん
- 私が XPJUGスタッフになりたい
とお願いしたときのコトバ

今いるスタッフはみんな
巻き込まれるのが大好きなので、
どんどん巻き込んでやって下さい。

実感

~~言い出しっぺ
の法則~~

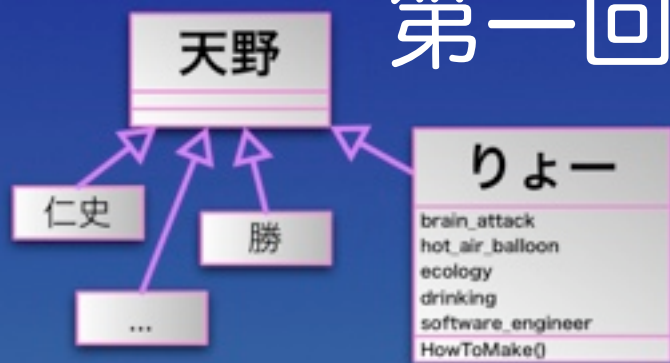
觀察

仮説

- 巻き込み力とか巻き込まれ力というパラメーターがある
- 一目置かれる人達の中にはこれらのパラメーター値が高いグループがある

2007.3.28 アマカン

第一回天野カンファレンス



- 私は「勝てない方」
- 2重の誤解「あまのさんって永和だと思

★ 今年のテーマ：“involve”

- NOT “evolve”

2007年のテーマにしてみた

實踐

Big Jolt

Background

- 各種コミュニティイベントの中には
マルチトラック制のものがある
 - ▶ デブサミ、オブラブ、 et cetera...
- 同じ時間帯に聞きたいものが重複する
レースコンディション問題
- さらに知り合いのセッションが重なる
踏み絵問題

そこでinvolveですよ

- 「聞けなかったアレ」をやってもらおう
- 自分の会社の会議室を使う
- 同僚も巻き込んでみる
 - ▶ 基本は「俺が聞きたい！」だけどね

やってみた (1)

- 2007年3月：伊藤賢さん
「マインドマップ基礎セミナー」
- 2007年7月：木下史彦さん
「fkino祭り2007」
- 2007年9月：J.Matsumotoさん
「コミュニケーションカセミナー」

やってみた (2)

- 2007年11月：相馬純平さん
「トリアージプロジェクト
マネジメント」
- 2008年1月：天野勝さん
「XPの原則を理解するWS」
- 2008年2月：コウイチさん&岸田さん
「鈍器本セミナー」

やってみた (3)

- 2008年10月：水野貴明さん
「中国のエンジニアと働くこと」

tips

- 聞き逃した後すぐに打診する
- 予算枠と時間枠と情熱を持っている
上司を巻き込む
- セミナー後、懇親会を設定する
- フィードバックを伝える
- Just Idea: 交換勉強会

社内読書会

Background

- 2007年初頭に参加した社外の早朝勉強会「見積り勉強会」がすごく良かった
- スティーブ・マコネル著『ソフトウェア見積り』を題材にした勉強会



そこでinvolveですよ

- 社内で本の良さを熱く語る
- 一緒に読みたい人を募って巻き込む
- ランチを持ち寄って食べながらやる
ブラウンバッグミーティング方式



やってみた

- 2007年春

「ミツモリ読書会」

- 2008年冬～春

「アジャイルプラクティス読書会」



tips


- オリジナルの勉強会のやり方に固執せず自分たちに合った方法でやる
- 最後の5分にふりかえる
- 番外編を設定する
 - ▶ アジャプラ読書会番外編として角谷さん・木下さんを招いてみた
 - ▶ DevLOVE にパチってもらった?

議事ログのマインドマップは公開

Picasa[™] ウェブアルバム マイフォト お気に入り ピックアップ アップロード

マイフォト > AgilePracticeReading

▶ スライドショー 共有 ダウンロード ▼ 編集 ▼



第1回 2008/2/7(木)

第2回 2008/2/21(木)

第3回 2008/2/28(木)

第4回 2008/3/6(木)

第5回 2008/3/13(木)

第6回 2008/3/18(火)

第7回 2008/3/27(木)

特別編 2008/4/10(木)

<http://picasaweb.google.co.jp/beakmark/AgilePracticeReading>

INAZUMA

トークス

Background

- 某Fグループ系ソフト会社では
“AKIBA LT” という名前の
社内ライトニングトークス
をやっているらしい
- 一度潜入させてもらったところ、
手作り感満載の素敵なものだった

そこでinvolveですよ

- 上司を“AKIBA LT”に連れて行った
- 所属チーム（部署）の
定例ミーティングの1コーナーとして
「INAZUMAトークス」枠を確保
- まずは自分自身がトーク
- チームメンバーを巻き込んで広める

やってみた

- 過去 7回開催
- のべ 37名が登壇
- 新人さんなどを積極起用

tips

- 名前をつける
- そもそもLTって何?
という人に説明する方法を考えておく
- 他の用件と連結する
- 定例会議時間枠を持っている
上司を巻き込む

ライトニングトークス水先案内

LTGuide

■はじめに



本ページは、技術評論社の雑誌「エンジニアマインド」の Vol.3 の記事を、編集部承諾のもと、公開するものです。まずは快諾を

また、この記事は懸田剛さんの担当されたパートと、私の担当し公開するのは私の担当分の「ライトニングトークス水先案内」と「**クスの歴史**」については、下記URLの懸田さんのWebページにて公

- <http://giantech.jp/wiki/LTHistoryForEM>

<http://mugiwara.jp/ki2/wifky.pl?p=LTGuide>

Morning Bee

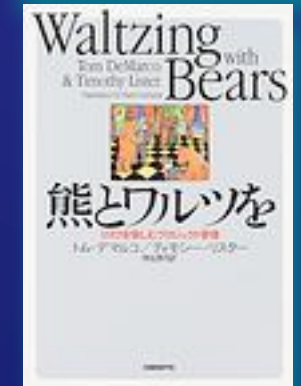
Background

- ある日、同僚(後輩)と
同じ本を同時に購入している事が判明
- せっかくなので、読んだ感想を
ざっくばらんに話し合ってみては
どうかと思った

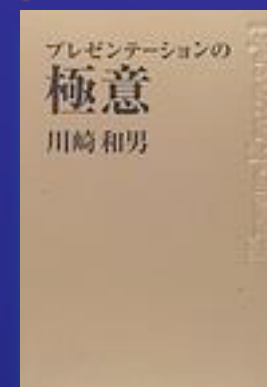
そこでinvolveですよ

- 朝、会社に行く前に1時間ほど
カフェでコーヒーを飲みながら
- 1回やってみたら、なかなか良かった
ので別の本をテーマに続ける事に
- 自分の良かった本に巻き込み、
相手の読みたい本に巻き込まれる
- 3~4週間に1度のペースに落ち着いた

やってみた (1)



やってみた (2)



tips

- 名前をつける
- 居心地の良い場所でやる
- 「定期的」にはやらずにゆるく続ける
- 本の内容に縛られない会話
- グランドルールを設定する

居心地の良い場所

STAR BUCKS

ゲートシティ大崎店



MOS Cafe

大崎think park店

Morning Bee グラントルール

— [上下カンケーは無し！

— ただし、レスペクトは忘れずに。これがあれば、大丈夫

— [「うっかり発言」 OK！

— むしろ推奨

— [進行時間は守ろう

— その日の仕事に気持ちよくとりかかるまでが、Morning Beeです

— [最後5分はふりかえり

— フィードバック重要！

— [最低1つは何かを持ち帰ろう

— 相手から・自分から、何が学べるかな。わくわく♪

現在は

- 一緒にやっていた同僚のつくばへの引越しに伴い休止中
- が、OSC 2009 Tokyo/Spring でちらっとMorning Beeを紹介したら、食いついて来た人（元同僚）が居て、彼と始めてみた
 - ▶ とりあえず1回やってみた



まとめ

- 巻き込み、そして巻き込まれる！
 - ▶ 上司[を|に]、同僚[を|に]
- 最小開催人数2名
 - ▶ 人数なりのコンテキストが決まる
 - ▶ 先に人数ありきではない
- 名前重要
 - ▶ 「自分たちのもの」という愛着

ご清聴

ありがとうございます

ございました

